

二田高校の灯は何とか消さないよう折る心でいます。

○会田美奈子(43・4・47・3)  
また教師をしております。

返子の聖和学院中、高校で社会科の講師です。三田高で教えていた頃、旧校舎でしたが学校の雰囲気がとてもよく懐かしく思い出します。

○郡司勝至(43・4・48・3)  
平成四年定年退職、三田高校の後、日比谷高校で十九年在職しました。待望のフリー自然療法、有機農法による米作りのかたわら、フリーのカメラマンとして活躍しています。

昭和四十三年から昭和五十一年まで、八年間定時制主事として、お世話になりました。今の校舎には三ヶ月ほど居りました。様々な思い出が詰まっています。

○小澤正義



○重原昌一(39・4・42・3)  
この四月(平成四年)から都立白鷗高専校長に異動しました。

○菊地 寛(39・4・45・3)  
平成元年三月退職し、現在東京芸術劇場嘱託員として勤務しております。



### 学生時代

三十年卒業 平林真澄

たしが高三の時だと思っ。ホームルームの時間に担任が、皆んな机に伏せて人を見ないように、「自分には心から信頼し、話しあえる親友のいる人」と聞かれた。私は勿論手を上げた。その時ちょっと好奇心で、親友の方を見た。手は上げていなかった。ショックだった。見ないようにと言われた掟を破ったバツだと思った。

夏は室内プールでよく泳いだ。体育館でバスケットもよくした。ひる間の大運動会皆んなでアイデアを出し合って仮装をしたり情熱をかたむけた。

毎年開かれる十一月二十三日の同窓会には、その時代の懐かしい話が飛び出し学生時代にもどれるのです。まだ出席したことのない人、ぜひ来て話して下さい。

大音楽会もきびしい練習をくり返し発表にこぎつけた。修学旅行は楽しかった今では考えられないが、奈良宇治、京都、大阪と五日間も廻った。皆んな制服でコートなど足首までの長い丈、写真機は一眼レフで、アンケルを考えてはよく撮った。こんなに楽しかった時代共有した思い出。



### へき地・教育を志して

野田村立野田中学校(教頭)

三十五年卒業 小川元春

生まれ育った東京を後に、まったく未知の岩手の山間の僻地の学校に赴任したのは昭和四十二年の四月のことでした。

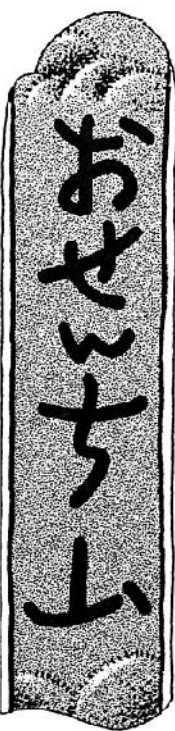
極貧の幼少期を過ごした私にとって、今もなお日本

のどこかで同じような生活をしている地があるのなら、そこに行って仕事をしなればならないという使命感みたいなものが、私の心を僻地へ駆り立てたのではないかと思います。

北上山地の奥地の小さな部落は、その頃になってようやく電気が灯ったという家もあり、まさに終戦後何年間の私の生活そのものでした。生徒は、学校から帰るとすぐに近くの山に入り、ワラビ採りをして家計の助けをしたり、学校でも授業時間に植林作業という行事を作り、営林署の下請けみたいなことをやって生徒会費を捻出したりもしました。しかし、今では衛星放送のアンテナが誇らしげに立ち、蛇口をひねれば熱いお湯が出てくるという豊

### また青春：加藤 コマ

いつも「ともかき」をお送り頂きありがとうございます。月日のたつのは早いもので三田高を去ってから二十六年になるのですね。あこがれの東京で東京タワーを横目に芝公園を抜けて通った学生時代がなつかしく思い出されます。二人の息子も社会人となり少しは楽になるかと思いきや相変わらず仕事と家事の両立でまだまだ自分の時間が持てません。この八月栃木県での高校最後の御健勝と御活



かな地域に変わりました。この地で、貧しくとも明るく生きていこうという精神を人々と共有することができたのは、三田時代、常に生徒に対して温かな励ましの言葉をかけて下さった恩師との出会いがあったお蔭だと思っています。

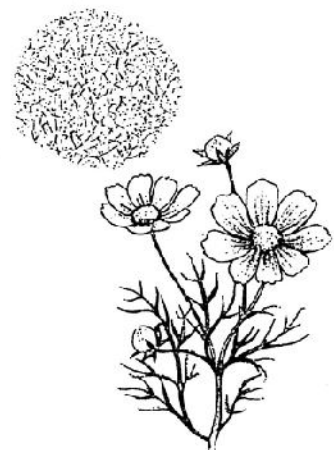
総体が開かれ、地元今市はフィールドホッケーの開催

### 釜 与志雄

時の経つのは早いもので、自分が三田を巣立って以来、数えてもう二十五年もなりました。私の出身は伊豆七島の新島で、昭和三十九年(東京オリンピックのあった年)に上京し、四年間、お世話になりました。

当時を思い起して見ると、全口制志望だった自分は、家庭の都合により、親から東京に出なければ、働きな

小さな地域の中で生活をすることは大変な事です。三田で生活をした頃の貧しくも大いに楽しかった時代をいつも念頭に置いて頑張っています。青葉会の役員の方々を初め、全会員の皆様の多幸を願って近況とさせて頂きます。



日黒区立第八中学校(学校長) 二十九年卒業 竹内 務

戦後の国全体が貧しかった頃の高校生活でした。当時の定時制の生徒の大部分は経済的な理由で昼間働き夜間に学ぶ者ばかりでした。疲れましたが楽しい思い出がたくさんあります。先生方も大変熱心にご指導していただき誇り高き定時制の高校生でした。特によき友人に恵まれたことが幸運でした。四十年を越えた現在も交友関係は続いています。

戦(昭和二十年八月十五日)の頃の話しをしました。私の若い頃は中学生も興味をもってきいていましたが、だんだん聞く耳をもたない生徒が多くなってきました。日本も驚くほどの経済の発展をしましたが、心の豊かさを忘れたようです。三田の同窓会関係で集まると心の豊かな人が大勢いるのだなと感ずることが多く、気が和やかになります。学校週五日制も試行が始まり、勤労に対する考え方もずいぶん変わってきています。これからの国際社会に生きぬいていく人を育てていくことが私ども大人の務めと考え微力をつくしていきます。